

## 正職員のみなさん

# 私たちが法律どおりの無期転換を求めるのは 働く人を大切にすることを望むからです

「予算が確保できないからハンコは押せないと言われ、限定正職員に応募できませんでした」「今働いている人を大切にできない職場はもう辞めてしまおう」

これは、実際に組合に寄せられた声です。改正労働契約法の趣旨は、不安定雇用にさらされている有期雇用労働者の雇用を安定させることにあります。東北大学当局は、この法律の趣旨を踏みにじり、長年働いてきた准職員・時間雇用職員が雇用不安に突き落とされています（10年以上働いてきた方も少なくありません）。この理不尽な当局の方針によって人材の流出さえ起こっています。

「大学の財政は厳しいが、法の趣旨と働く方々の意向も踏まえた」

雇止めを中止し、無期転換を実現した名古屋大学はインタビューにこう答えています。財源の確保は障害になっていません。名古屋大学でできることが東北大学でできないはずはありません。問題は、法の趣旨を尊重せず、働く人を大切にしない当局の姿勢にあります。

**准職員・時間雇用職員を平然と使い捨て、入れ替える大学で、  
正職員の皆さんは大切にされるでしょうか**

みなさんは大学から大切にされていますか。業務量の著しい増大をはじめ、正職員の労働環境も多忙化、劣悪化しています。准職員・時間雇用職員を平然と使い捨て、入れ替える大学では、正職員だって大切にされないのではないのでしょうか。私たちが望んでいるのは、働く人すべてを大切にする東北大学です。

### 正職員のみなさんのご理解とご支援を

業務に精通した准職員・時間雇用職員も数多くいます。その人たちがいなくなったら困る正職員の皆さんも多いはず。みんなが安心して働ける大学になってこそ、大学の発展に貢献できるはず。正職員のみなさんのご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

ぜひ、非正規職員への応援メッセージをお寄せください。

「東北大学非正規職員の大量雇止めに対する、東北大学退職者のアピール」が発表されました。ご覧ください。



東北大学職員組合 <http://tohokudai-kumiai.org>

Tel. 022-227-8888 FAX 022-227-0671